



- 社会福祉法人 恩賜財団 済生会
済生会熊本福祉センター
- 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき
 - 障害者多機能型事業所 就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ
 - 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ
 - 済生会しらふじ保育園
 - 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
 - 済生会グループホーム事業所
 - 済生会熊本福祉相談支援センター
 - 済生会なでしこ園相談支援事業所
 - 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。
私達の福祉センターは、保育園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。
園児・利用者・従業員・職員総勢約470名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針

- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
- ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
- ・利用者主体の福祉を実践します。

福祉センター 2016年度事業計画

①2015年度の取り組み実績

- ①福祉センター全体**
- ・「地域と共に」をキーワードに、夏祭りイベントや天明かかし大会、清掃活動参加等を通して地域との交流強化
 - ・社会保険労務士事務所のコンサル導入による職員研修の充実や人事制度改革の検討

②各施設の取り組み

なでしこ園	・多様なニーズに応じた発達支援の実施・地域ネットワークや事業所との連携強化 ・10月31日新園舎完成落成式、12月13日記念講演会開催
しらふじ保育園	・1階事務室改装工事完成により、執務環境の改善。
グループホーム	・町内清掃活動等による社会貢献活動の推進 ・業務の見直し、短期入所者へのアンケート実施
ほほえみ	・福祉サービス第三者評価6月受審(結果a:68、b:1) ・地域コラボ商品として山鹿ホテルへの古墳パンの納品
かがやき	・教育研修センター完成による清掃業務の作業効率向上 ・弁当納入業者の見直し、そうめん、うどんの販売注力。
ウイズ	・福祉サービス第三者評価11月受審 ・「就労体験会」「家族見学会・情報交換会」開催 ・クリーニング増産体制と食品から給食事業への転換準備
地域生活定着支援センター	・7月、熊本病院内移転 ・10月29日、3月9日「関係機関担当者連絡会議」開催

②2016年度事業計画

2016年度は社会福祉法人改革による監督強化や「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の見直しなど、さらに厳しい事業運営が予想される。一方、障害者施策においては2016年4月に「障害者差別解消法」が施行され、障害者の権利擁護の進展が期待される。このような環境の中、福祉センターでは組織人事や就業規則の見直しを行い、「意識変革」をキーワードにマネジメント力を高める。さらに、障害者の権利擁護活動に努めるとともに、熊本県済生会の一員として、ガバナンスを強化し経営基盤の安定に注力していく。

キーワード「意識変革」

- 1 質の高い福祉サービスの提供**
 - ①福祉サービス第三者評価受審と評価結果に基づく実践計画の着実な運用。
・2016年度受審予定(10月:かがやき)
 - ②利用者(児)を主体とした、ストレングス(利用者の強み)視点の支援の充実
 - ③給食事業や病院内事業等の就労支援事業の変更に伴う利用者の異動と工賃向上
 - ④支援・保育・療育の充実のため、職域・階層別研修実施による職員の専門性向上
 - ⑤各事業所における福祉ネットワークの構築と連携強化による支援の推進
 - ⑥熊本県地域生活定着支援事業における支援マニュアル充実による支援体制強化
- 2 地域社会・家族との連携**
 - ①前年度の「地域と共に」活動の継続と深化
 - ②見学会や情報交換会開催による家族と職員間の交流、保護者会との連携強化
 - ③地域行事への積極的な参加や地域清掃活動の定例化
 - ④ホームページや広報誌による積極的な情報発信
 - ⑤ネットワーク強化による地域資源との協力体制の構築
 - ⑥施設見学や体験入所、ボランティアの積極的な受入
 - ⑦障害者差別解消法施行に伴う啓発活動
- 3 経営基盤の安定**
 - ①社会福祉法人改革に向けて、客観性の高いガバナンス体制の構築
 - ②「2020将来展望プロジェクトチーム」(仮称)の立ち上げ
 - ③人事異動への組織対応とメンタルヘルス等の職員の健康管理推進
 - ④給与体系・退職金制度を含めた人事制度見直しによる事業運営の安定化
 - ⑤利用者(児)確保と利用率の向上
 - ⑥給食事業開始や院内事業の見直しによる就労継続支援事業の収益確保
 - ⑦なでしこ園の新園舎活用による収益確保
 - ⑧しらふじ保育園における認定子ども園等、新保育制度の内容検討
 - ⑨計画的な設備投資と経費削減の徹底



月	行事・事業名	外部会議等
4月	・新入職員入職式 ・しらふじ保育園入園式・「すまいるん」発行	県施設協会連絡会
5月	・熊本県障害者スポーツ大会 ・利用者健康診断・防災訓練	ひまわり家族会総会 市施設連合会総会・きずなの会
6月	・しらふじ保育園花の日活動	全国定着支援センター協議会
7月	・「すまいるん」発行	全国就労センター研究会
8月	・内田夏祭り	天明市民の集い
9月	・しらふじ保育園運動会・フットバスボール交流大会 ・ステップアップ職員研修会	熊本市知的障害者施設協会
10月	・熊本県施設親善スポーツ大会 ・熊本市障害者大運動会・「すまいるん」発行 ・福祉サービス第三者評価受審(かがやき) ・なでしこ園カミングデー	全国知的障害者関係研究大会 熊本県知的障害者施設協会
11月	・幹部研修会・防災訓練・アビリンピック ・自己評価実施・秋のレクリエーション	九州知的障害関係施設長研究大会 九州就労センター研究大会
12月	・各施設事業計画案提出	知的障害者施設協会福祉大会
1月	・新年式・「すまいるん」発行 ・福祉センター事業計画提出	熊本市ブロック施設長会議 県知的障害者施設協会連絡会
2月	・ひまわり家族会新年親睦会 ・第三者委員事業報告会・ライオンズ駅伝大会	全国社会就労センター長研修会 苦情解決研修会
3月	・卒園式(しらふじ保育園・なでしこ園) ・個人別目標管理表・春のレクリエーション	県知的障害者施設協会評議員会 県就労センター施設長会

2015年度 苦情・要望

済生会ウイズ苦情件数 17件

＜要望＞
入院中の利用者に土曜日活動案内を渡したことでご家族より「渡してほしくなかった。」という声があった。

＜対応＞
土曜日活動内容が1年に1回の忘年会で利用者さんは忘年会を楽しみにされており、ご家族は健康面を心配されたものと考えられる。
直接本人へ案内を渡したことに配慮がなかったことを謝罪する。
今後は施設内、グループホーム等へ相談を行い、ご家族と連絡を取る等を行う。

済生会かがやき苦情件数 5件

＜要望＞
要望した事に対して、きちんと対応してほしい。

＜対応＞
すぐに応える事ができる要望ではなかった為、その事について本人へ再度、説明を行う。また、その際に今後の対応や最終的にどうなる事が本人の望みなのかを検討し、対応の経過報告を都度、行う事にした。

済生会ほほえみ苦情件数 12件

＜要望＞
送迎車の駐車場所を安全面などを考慮し、統一して欲しい。(他のご家族からも、職員により駐車場所が異なることのあるとの指摘有)

＜対応＞
送迎担当職員が、再度、送迎時の駐車場所と乗降場所、送迎ルートの確認を行い、安全に乗降できる場所を統一する。同時に、運転マナーに関しては、利用者を乗せているという責任感と職場の車両を運転しているという意識の向上を図るため、定期的にマニュアルの確認を行っていく事とする。

済生会グループホーム事業所苦情件数 7件

＜要望＞
10代女性からの苦情。職員の言葉に傷ついたと言って警察を呼んで相談している。結婚をしたいと言う本人に対して、まだ早いのではないかと助言した中で職員の言葉に傷ついたとのことであった。

＜対応＞
本人には福祉サービスについての相談がある場合には警察ではなく他の相談機関があることを説明。苦情の内容に対しては話し合いを行ない、利用者からの相談には傾聴の姿勢で対応することや、相手がどのように受け止めるかを考え言葉を選んで話をすることなど職員に周知している。

済生会なでしこ園苦情件数 1件

＜要望＞
トイレトレーニング中で、降園時にはオムツに履き替えるようにしていたのに、パンツのまま帰ってしまった。
翌日、母から指摘があったが、職員の対応に伝わり不足を感じられ、更に翌日のおたより帳にもその事に触れてあった。

＜対応＞
母の気持ちが解消できていないと判断し、話をじっくり聞かせていただく時間を設ける。その後の家庭での様子に思いが至らず、母への言葉かけにも配慮が足りなかったこと等を謝罪し、今後しっかり担任間で情報共有することをお伝えする。職員に対し、情報をしっかり共有し合うこと、保護者の気持ちに寄り添った対応や言葉かけに配慮するよう周知徹底する。

済生会しらふじ保育園苦情件数 5件

＜要望＞
以上児クラスでは毎月誕生児の紹介をしているが、その紹介が遅い。

＜対応＞
担当職員より報告を受け、今後このような事のない様に職員ミーティングで伝え、保護者に謝罪した。

しらふじ保育園に オニがきた～!!

済生会
しらふじ保育園

2月3日節分 朝から子どもたちも、何やらそわそわしています。

「ねえ～ねえ～先生!今日はオニさん・・・来ないよね?」
その問い掛けに、ただただ無言の保育士です。ホールに全園児が集まり、いよいよ節分の会が始まりました。担当の保育士から節分の由来について話がありましたが、オニは登場せず子どもたちも、今日は来なかったと、ほっと一安心!ドキドキしながら会は終了。あれれ?おかしいな、オニはいつ来るの?とっていたら、各部屋から大きな泣き声が聞こえてきました。

そうです、子どもたちが安心して帰ってきたクラスにいたんです!それぞれのクラスで大暴れしたオニさん!子どもたちの意地悪虫や泣き虫を食べて、最後は仲良くなって、帰っていきました。また来年も来てね♡



ほほえみ春レクレーション

済生会
ほほえみ

3月26日(土)に、利用者・ご家族・職員 総勢31名で、三角にある宮田農園 に行ってきました(^^)

ここではクッキーやピザ、パン、おにぎりを作る体験が出来ます。

クッキーの型抜きをしたり、グループで協力しながら柔らかなパン生地をこねたりと、おいしそうなのが出来上がりました。

天気も良く、お腹いっぱいになり、とても楽しい一日となりました!



ウイズ春のレクレーション

済生会ウイズ

2月20日、春のレクレーションを行いました。当初予定していたグリーンランドには雨の為行けず、予定を変更してカドリドミニオンに行き、みやざわ劇場を観劇しました。チンパンジーのパン君の子供の『プリンちゃん』のお披露目があり、みなさん食い入るように見ては写真を撮られていました。昼食は焼肉キングにて焼肉食べ放題でみなさん喜ばれていました。



雪あそび



済生会
なでしこ園

1月の大雪の日、なでしこ園では雪遊びで盛り上がった1日になりました(*^_^*)いつも遊んでいる園庭が一面真っ白になっている光景に、目を輝かせて外に飛び出していく子どもたちです。「きゃ～!!」と嬉しい声が響き渡る中、初めて見る雪に少しびっくりしているおともだちもいました。空を見上げ降ってくる雪にくすぐったそうに笑ったり、おそるおそる雪に触れてみたり、おともだちと雪だるまを作ったり、子どもたちの反応は様々でしたが、普段できない貴重な経験ができたのではと思います。あまり見慣れない雪景色に、私たち職員も子どもと一緒に盛り上がり、とっても楽しい思い出となりました♪



地区かかしコンテストで入選作を受賞

熊本福祉
センター

熊本市天明地区の天明南園会(県立熊本農業高校卒業生)主催により11月に第2回天明かかしコンテストが開かれ、当センターから出展した4体のかかしはみごとに入選作品に選ばれました。2月に行われた表彰式では、表彰状の他においしそうなたまごやなすも賞品に頂きました。



かがやき春のレクレーション

済生会
かがやき

3月19日(土)、阿蘇猿回し劇場と阿蘇ファームランドへ行って来ました。

阿蘇猿回し劇場では、お猿さんと芸人さんとの掛け合いに時折爆笑しながらも、かっこいいお猿さんの演技にみなさん見入っておられました。

阿蘇ファームランドでは、バイクの昼食後、グループ活動を行いました。健康チャレンジ館のグループは、20種類ほどあるユニークな運動装置で楽しみながら体を動かされ、クッキー作り・おせんべい焼き体験では、それぞれ自分の好きな絵を描いたり、形を抜いて作ったりと、お菓子作りを楽しめました。動物とのふれあい体験やファームランド内を自由に散策するグループも思い思いに過ごし、春風が吹く早春の1日を楽しんで過ごされていました。



ドライブへ出かけました

済生会
グループホーム



グループホームの方6名と一緒に、こいのぼりを見にドライブへ出かけました。川の上をたくさんの色とりどりのこいのぼりが風にあおられて泳いでいて、とってもきれいでした。

永年勤続表彰者のお知らせ

2015年度熊本県知的障がい者施設協会 永年勤続表彰者
※知的障がい者福祉事業に10年以上の功績のある職員に対する表彰です。

- 済生会かがやき 澁谷 梨英子(10年)
- 済生会ほほえみ 田尻 梨香(10年)・元松 順子(11年)
- 済生会グループホーム事業所 岩下 かすみ(11年)
- 済生会ウイズ 早川 慎一(10年)

発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 道端 由美子
編集 広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
http://www.sk-fukushi.jp/